

どのように奈良公園の鹿と観光客が快適に共存できるのか

3年1組30番 山崎李了亞

Keyword:「鹿」「奈良公園」「観光業」「共存」「ゴミ問題」

1. はじめに

私は、「どうしたら奈良公園の鹿と観光客が快適に過ごせるのか」というテーマの元、2年生から今までプロジェクトを遂行してきた。きっかけは、1年時の校外学習として奈良公園へ行き奈良の鹿愛護会にお話を伺ったことである。奈良公園の鹿は年々弱体化が進んでいる。日常的に排出されるポイ捨てゴミで毎日体を痛めており、私達がこうしている間にも鹿は誤食を起こし弱体化が進んでいる。鹿愛護会さんが、団体が提示する啓発よりも県や法律、観光業界の権力者から大きく発表してほしいと懇願しているのを聞いて、とても悲しい気持ちになった。鹿は奈良県の観光業を支えている鍵であり自然遺産だというのに、対応が疎かになっていると私は感じた。鹿の生存が脅かされる今の状況を、早急に誰かが行動に起こすべきだと思った。こうして私はゴミ問題を問題視した。

2. 序論

奈良公園のゴミ問題は、奈良県が誇る観光地として問題視されている環境問題である。景観の面でも、誤飲による鹿の弱体化など被害は日常的であり、積極的な活動が必要だと感じた。そして私は、観光客と鹿の共存を目的とし、どうしたら奈良公園の鹿と観光客が快適に過ごせるのかという問い合わせた。

まず最初に私は、現状の把握から始めた。奈良公園のゴミ箱は1984年(奈良県ホームページより資料を引用)に、たくさんの観光客が現地で飲食を行いゴミ箱が散乱することや、それを鹿が荒らすことが原因で撤廃された。美しい奈良公園の自然を守るために撤廃したはずが、それは失敗に終わりゴミが道路や公園内のいたるところに捨てられるようになった。そして食べ物の匂いが残ったゴミを鹿は間違えて誤食していった。喉に詰まって呼吸困難を起こして死亡、または胃の中でプラスチックゴミが消化されずに蓄積され食べ物が入らなくなり弱体化していった。ゴミが胃に入ってしまった以上、死体になってから解剖するしかゴミを取り出す方法がなく、一度食べてしまうと死ぬまで胃の中で蓄積し続ける。

3. 本論

私は、鹿を想うならこそゴミ箱の設置が改善への大きな一歩になると思い、奈良公園管轄団体にアタッチメントを計ろうと計画した。そこで私は恵まれたことに、奈良県内の各生徒会役員が召集される「奈良県高校生議会」の提言役を顧問の先生に推薦していただき、奈良県知事及び奈良県議員全員、奈良県内高校代表生徒、メディアの前でゴミ箱の設置を提言した。奈良県を直接動かす権力を握った政治家の方々に意見し、奈良県のホームページにも私の原稿を掲載して頂いた。翌年1月に、奈良公園付近に計五つのゴミ箱の設置が発表された。だがしかし過去に撤廃したものを簡単に設置するわけにはいかず、1ヶ月間の実証実験を経た。計5つのゴミ箱から、約400キロのゴミが摘出された(NHKによる知事への記者会見資料、奈良県ホームページから資料を引用)。これは、鹿を約400キロのゴミから守れたことを意味する。県はゴミ箱の設置を継続すると公表した。奈良の鹿愛護会へ伺い、ゴミ箱の設置に伴う影響はあったのかインタビューをしてきた。結果、鹿への直接的な影響は測れないけれど、大きな一歩を踏み出せたという意見を頂いた。プラスチックゴミは消化されず一生お腹に溜まるので、今年生まれた鹿からしか検測できない。ゴミ箱が設置されたことで鹿の誤食が減ったのかは10年ほど経った後に調べられるのでまだ答えはわからない。しかし、奈良県庁や知事に目を向けてもらって設備を整えられたことは、検

証結果への需要の影響として今後の奈良公園にも目を向けてもらえる。私は今後の奈良公園の未来を変えることに貢献できたのではないだろうか。

そして、毎週ゴミ拾いをして奈良公園のゴミを直々に管理しておられるボランティア団体にゴミが減ったのは本当なのか聞きに行った。まずはゴミゼロプロジェクトへ、そして奈良の鹿サポートーズクラブへ訪問した。

ゴミゼロプロジェクトの方いわく、奈良公園のゴミは約1割削減できた。まだまだ設置場所など知名度の伸び代がある状況なので、これから場所変更や新規設置などに期待を置かれている。鹿サポートーズクラブの方は、奈良公園が観光地となった当初と比べて、長い目で奈良公園を取り扱っておられるので、昭和時代の環境からは確実に改善されていると仰った。

4. 結論

私のプロジェクトでは、単に問い合わせを解決し、新しい学びを深めるだけのプロジェクトで終わらせず、たくさんの企業の方々に動いてもらって奈良公園の長い歴史を変えた。ターゲットが鹿の体調なので直接的には検証できないが、奈良公園、管轄者に大きな影響を与えられたと満足している。奈良の鹿愛護会、奈良県奈良公園室、鹿サポートーズクラブ、ゴミゼロプロジェクトのたくさんの団体に1人でアポイントメントを取って伺い、今後の人生を変えるほどの大きな経験ができた。

5. おわりに

私は、これから探究が始まりテーマを決めないといけないと言う時に、奈良県を代表するシンボルである鹿に着目したが、言葉が通じず論理性のないただ生命活動をしている彼らをターゲットにしたのは、とても難しかった。彼らは、私が調査している時、探究の授業でない時、最善策を練っている間も私と同じように息をして生命活動を行っている。他の生徒が効率よく探究のサークルを回して活動している中、私は即効性のある結果を常に求めて行動していたので、進みにくい難点もあった。これからも行動力を鍛えていきたい。

6. 参考文献・出典

シカの誤食防げ 奈良公園に40年ぶりゴミ箱_インバウンド増加背景

2025.03.05 ジジドットコムニュース

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2025030500233&g=soc>

奈良公園で約40年ぶりに公共ゴミ箱を設置！IoTスマートゴミ箱「SmaGO」奈良公園バスターミナルにて実証実験開始

2025年1月24日 フォーステック

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000061.000080115.html>

奈良公園における取組について

令和7年7月29日(火) 知事定例記者会見資料

<https://www.pref.nara.jp/secure/325761/R070729teirei1.pdf>